

令和2年度 障害者理解学習支援事業 実施状況一覧表

	学校名	実施日	講師	テーマ	学習のねらい	学習の成果・感想
小 学 校	厚東	令和2年10月3日	松井 恵子	「こころのバリアフリー」 ～障害者の自立～	障害がある松井さんの生き立ちや経験、願いなどを知ることを通して、「地域でともに生きる」ことの大切さやすばらしさについて考える。「ともに生きる」社会の実現に向けて、自分にできることは何かを考える。	障がいがある松井さんの生き立ちや経験、願いなどを知ることを通して、「地域でともに生きる」ことの意味や大切さについて考えることができた。また、宇部市のバリアフリーの現状や課題などについても知る事ができ、「ともに生きる」社会の実現に向けて、自分にできることは何かについても考えることができた。
	東岐波	令和2年10月15日	溝田 成哲	やさしい町 東岐波のことを もっと知ろう(障害者との共生)	・視覚障害のある方の生活の様子や願いを知る。 ・盲導犬の役割と目の見えない人とのつながりについて理解する。 ・溝田さんとの交流を通して、バリアフリーの大切や自分たちにできることを考える。	盲導犬の役割と、視覚障害のある方の生活の様子や願いを知ることができた。また、アイマスク筆記やブライインド卓球の体験を通して溝田さんの話を体感したり交流したりした。
	川上	令和2年11月5日	溝田 成哲	支えられて支える～見えない 世界からのメッセージ(失明・ 自立・社会貢献)～	老若男女・障害の有無に関わらず、 相手を思いやる心や態度を養う。	成果:目が見えない人がどのような想いで暮らしているのかについて、実感を伴って理解することができたこと。 課題:本日の学びを日々の学校生活などに還元し、思いやりのある言動を心がけることができるかどうか。
	黒石	令和2年11月13日	西村 和幸	だれもがよりよく関わり合うた めに	目の不自由な人とどのように接すれば、相手の立場に立ってよりよく関わり合うことができるのか、体験を通して理解させる。	講師の体験や考え方について話を聞いたり、質問したりしながら交流を深めていくことができた。そして、本当のバリアフリーとはどういうことなのかを正しく理解し、障害のあるなしに関わらず、人としてどう関わっていけばだれもが笑顔で前向きに、そして認め合って生活できるのかについて考えることができた。
	小羽山	令和2年11月13日	溝田 成哲	目が不自由な人ってドンナ人 ～盲導犬・点字・日常生活など～	わたしたちの身の回りには、様々な人々が生きていることを知り、障害のある人たちの生活や思いを理解しようとする事ができる。	目の不自由な人がどのように日常生活を送っておられるか動画や生活の中で使われている道具を実際に見せていただき学ぶことができた。音声入りのパソコン入力、ユニバーサルデザインの紹介、点字について、盲導犬の働きなど、児童に分かりやすくていねいに教えていただき、子どもたちにとっても貴重な体験となった。

令和2年度 障害者理解学習支援事業 実施状況一覧表

	学校名	実施日	講師	テーマ	学習のねらい	学習の成果・感想
小学校	小羽山	令和2年12月3日	和泉川 優嗣	聴覚障害者の暮らしや手話について	わたしたちの身の回りには、様々な人々が生きていることを知り、障害のある人たちの生活や思いを理解しようとするができる。	聴覚障害者の方の暮らしについて分かりやすく教えていただいた。幼い頃の体験から現在にいたるまでのことを詳しく知ることができた。その後、あいさつなどの手話について教えていただき、児童と会話を楽しんだ。これまで学んできた手話に直接ふれることができ、児童にとって貴重な時間となった。
	上宇部	令和3年1月26日	国吉 由紀子	障害のある方の人権について考えてみましょう<介助犬を知ろう！>	介助犬を題材に、障害のある方の人権について考えることを通して、児童・教職員の人権意識を高める。	人間を支える補助犬の役割や種類について学んだ。補助犬は人間の手足となって働くだけでなく、ユーザーの生きがいにもなっていることを知ることができ、動物のもつ力の素晴らしさを感じることができる講演であった。私たちも、障害のある方のためにできることを児童と一緒に考えていきたい。
	恩田	令和3年2月9日	福岡ダンデライオン	障害者スポーツ(ウィルチェアラグビー)	車椅子で生活されている方々に対する理解及び障害者スポーツに対する理解を深める。	「しょうがいってなあに」というテーマで、車椅子ラグビーチームの方のお話を聞いたり体験活動をしたりした。自分の夢をもつことや仲間と支え合う大切さを学び、自分のがんばりたいことについても考えることができた。
中学校	上宇部	令和3年1月18日	八木 明歩	パラリンピックへの取組を知ることによって障がいについての理解を深める	パラリンピック金メダルをめざしている講師の講演を通して、目標に向かって強く生きていく姿勢を学び、障がいに関係なく、共に歩んでいく社会をつくる。	パラリンピックで金メダルをめざしている八木選手の講演を聴いて、障がいがあっても、夢をもつことで困難を乗り越えていけることを学んだ。また、障がいに関係なく、共に夢を応援しあう大切さも理解することができた。
高校	宇部西	令和2年6月30日	溝田 成哲	視覚障害者とのコミュニケーションについて	視覚に障害がある方や盲導犬とのふれあいを通して、視覚障害者の生活について知る。	視覚障害者の生活について、ICTを活用した説明に加え、盲導犬との歩行の様子など、実演も交えて教えていただいた。また、目が見えなくなった時の気持ちや、その後どのように障害受容をしてきたかについてもお話しいただき、視覚障害者の気持ちを知る貴重な講義となった。
	宇部西	令和2年12月10日	西村 和幸	障害者福祉について	視覚障害者の生活を知ることで、障害者への理解を深める。	“相手の立場にたって考える”ことの大切さや、“全ての人々が社会の主人公”という事を、生徒に分かりやすい言葉で伝えていただいた。ギター演奏、点字の実演など、生徒が障害者に対して、関心を持って理解を深めることができるように内容が工夫されており、大変勉強になる講演となった。